



2024年度トリプル改定～物価高騰等に全く対応できないもの。 全国で進行する経営危機。綱領の立場でたたかう経営活動を 《出張などでの学びを共有しよう》

《法人トップ管理者のための経営講座》 【小池専務】
～「民医連運動の歴史、綱領、経営再建の教訓」より

《2024 緊急 経営委員長会議》
【木村 生協事務局長】



日本の医療法人の4大経営破綻のうち3つが民医連の事業所とのことだったが、そのすべてで経営再建を果たしているということは民医連のすごさだと思う。経営再建の基本方針として「医療を守る」「債権者を守る」「役職員の雇用と生活を守る」をかかげ取り組んだことが良い結果につながったが、そこには民医連事業所を何としても守っていくのだという職員や地域住民の取り組み抜きには考えられないし、そのような関係性を民医連が長年かかって築き上げた結果とも言える。

その民医連運動の柱となる綱領は、歴史の中で大きく左右に振られながらも地域の実態と要求から出発した活動を続けていくことがその発展を支えていた。いままた、現行綱領ができて10年以上たち、綱領の見直しが呼びかけられた。ただ、これは改定をせよということを目指しているのではなく、今日的に見直しが必要か常に見直しが必要ということを目指していると思われる。これまでの民医連の70年の歴史は、記念レセプションに参加された日本医師会長はじめ、多くの団体参加者の顔ぶれを見ても確実に日本の医療業界の中で一定の評価を得ていることを示している。この民医連運動を今後も持続発展させるために奮闘していきたい。

2023年度経営委員会後、さらに全国で経営危機は悪化し、2024年度内の倒産発生が現実味を帯びている状況が報告された。危機対応にあたり、経営判断の基礎的指標の整備を呼びかける緊急集会であった。香川医療生協の要対応事項（統一会計基準準拠不適）は、事業CF予算の未作成となっており、本点については2024年度予算づくりで改善整備する予定である。

また、中長期投資資金計画が不十分なため、単年度資金需要を満たす水準で目標利益予算を作成している法人では大規模投資が必要になった年度に急速に資金繰りが悪化する例が多数あることが報告された。

香川では目下2030年までの資金計画を策定する。あわせて、2024年度改定にあたっては現在予定されている本体0.88%プラス（うち0.6は処遇改善分）では、物価高騰・エネルギー高騰に全く対応できないものであり、地域での共闘活動、パブリックコメント等たたかいを強める必要性が強調された。

民医連創立以来の経営危機であり、経営基盤整備および中長期資金計画の進捗管理のため次回、3月度に臨時経営委員長会議が継続して開催される予定が報告された



定例平和社保宣伝：【市民連合】19日朝7時半/【社保協】25日朝7時半/【憲法C】第2(水)17時半
【革新懇6の日行動】6日12時/【原水協6・9行動】9日12時/【原発なくす会】最終(金)17時半